

トマト育苗の記録と情報誌

第10号
編集
トマト生産部
2026.2.6



秩父別町のトマトジュースは、朝もぎの完熟トマトで作られています。一口飲むとトマトを丸かじりしたような、自然な甘みが口いっぱいに広がります。完熟トマトの美味しさをぜひご賞味ください。

はじめに

12月は、雪や雨が続き不安定な天気でした。雪の量も例年に比べ少ないと思います。しかし、1月は連日雪が続き、除雪作業が続きました。冬のハウス管理は初めてで、除雪の方法も手探りです。ジェットヒーターでハウス内を暖め、上に積もった雪を落とし、ハウス周辺を除雪しています。

編集 てるりん



2月1日（日） 初期段階からの苗管理

昨年は、町内の育苗センターで約25cmを目標に育て、5月にトマトハウス内に発泡スチロールを活用して移植・栽培をしました。

今年は、農家の方と同じく数cmの苗をハウスで育てる予定です。

事前に育苗容器へ土を入れ、育苗センターで育てた苗を移植します。

苗が大きくなるにつれて、苗の間隔を広げて育てていきます。

つぼみが付いたら、発泡スチロールの箱に移し替えます。

これらの作業も初めてになります。

皆さんに聞きながら、作業をしていきます。

トマトマメ知識

トマトは見た目で選ぶ

トマトの旬は、6月から9月です。

関東近県から始まり、7月後半から北海道や東北など高冷地のトマトが市場に出回ります。

トマトは見た目が大事です。

ヘタが緑色にピンと張って、表面にハリとツヤがあるのは新鮮な証拠です。

ずっしりとした重さがあり、形は丸く、色ムラが無いトマトは完熟しています。

また、トマトのおしり部分、小さな点を中心に放射線状に筋が現れているのは「スターマーク」です。

畑で採れた新鮮なトマトには、可愛い産毛が生えています。

除雪作業

トマトハウスの周りと、太陽光パネル付近の除雪を行っています。

使い慣れていない、除雪ロータリーとタイヤショベルに悪戦苦闘の日々・・・

家庭用の除雪ロータリーは使用経験がありますが、それよりも大きなロータリーを使用しています。



これらの機械で除雪します。



今回も読んでいただき、ありがとうございます。次回は、3月の発行を予定しています。